

## エム・セテック(株)相馬工場内発電所新設計画に係る

### 環境影響評価書に対する意見について

- 1 環境への影響をさらに低減する実用可能な技術が確立された場合や、新たな知見が得られた場合には、積極的にそれらの技術等を活用するなど、環境負荷の低減に努めること。
- 2 今後、予測し得ない環境への影響が生じた場合は、適切な対策を実施するとともに、事業内容を変更する必要がある場合には、当該変更による環境への影響を予測・評価し、その結果に基づき必要な環境保全措置を講じること。
- 3 ばい煙処理装置の維持管理・ボイラーの燃焼管理等を徹底し、可能な限り大気汚染物質及び温室効果ガスの排出量削減に努めるとともに、排水処理装置等の適正な維持管理等により、環境影響を可能な限り回避・低減させるように努めること。